

次世代発光レポーターを用いた分子間相互作用解析

NanoBiT 新規 2 分子相補システムを用いた 細胞内タンパク質分子間相互作用モニタリング

名古屋大学遺伝子実験施設テクニカルセミナー(2016)

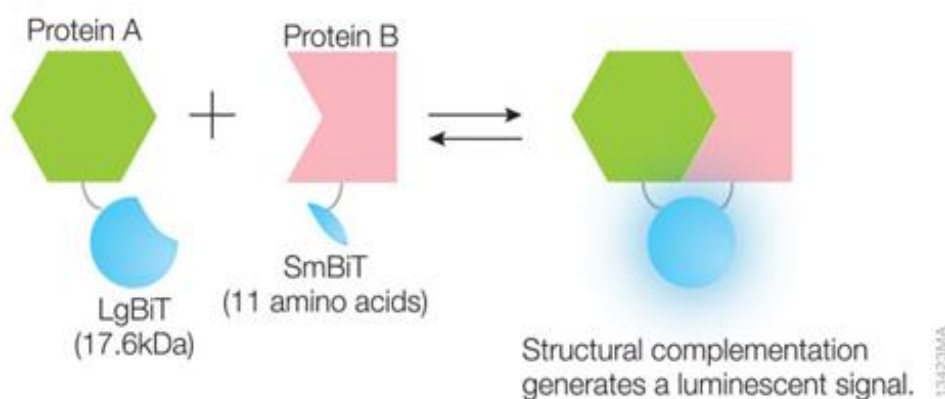
日時： 2016 年 10 月 27 日(木) 14 : 00 ~ 16 : 00

会場： 名古屋大学 理学部 F 館 3 階 F301 室

演者： プロメガ株式会社 テクニカルサービス部 大田 光徳

■要旨

タンパク質間相互作用 (PPI) は細胞内のシグナル伝達ネットワークの必須要素です。*In vitro* で PPI をモニタリングする方法は数多くありますが、細胞内で検出する方法はそれほど多くありません。プロメガは NanoLuc®ルシフェラーゼをベースにした2つのサブユニットシステムで細胞内でのPPI 検出を可能にするNanoLuc® 2分子テクノロジー (NanoBiT : NanoLuc® Binary Technology) を開発しました。Large BiT (LgBiT;18 kDa) およびSmall BiT (SmBiT; 11アミノ酸ペプチド) のサブユニットをそれぞれ標的タンパク質との融合体として発現させ、PPI が起こるとサブユニットの相補性が促進され発光酵素として明るい光を生じます。本セミナーでは、NanoBiTテクノロジーの特長、PPI解析への応用例、またNanoBERTとの違いについてご紹介致します。



★参加ご希望の方は、10月21日（金）までにプロメガ営業部 羽賀 (mitsuru.haga@promega.com) 宛に、下記3点をメールにてご連絡をお願いします。

(1) ご氏名 (2) ご所属 (3) ご連絡先 (内線番号、電子メールアドレス)

お問合せ先：電話：090-4412-5204、電子メール：mitsuru.haga@promega.com